

野生鳥獣による農作物被害の発生状況について

- 令和3年度の野生鳥獣による農作物被害額は、34,143千円となりました。
- ここ数年は、カラス、ツキノワグマ、ニホンザルによる被害で、全体の約7割を占め、30,000千円前後で推移しています。
- 作目別では、水稲の被害が全体の約4割を占め、次いで果樹、野菜、豆類と続いています。
- 近年、イノシシによる被害額ならびに目撃情報が増加傾向にあります。
- 今後は、主要3鳥獣に加えて、イノシシ、ニホンジカによる被害拡大が懸念されることから、各市町村協議会等との連携を強化し、実施隊等による捕獲や電気柵の設置等の環境整備の対策を進めます。

	H29	H30	R1	R2	R3	R3/R2
ツキノワグマ	24,802	19,747	10,985	11,588	11,348	98%
サル	3,835	3,527	5,179	2,854	4,609	161%
カラス	11,522	16,166	6,725	6,423	6,811	106%
イノシシ	22	2,177	1,175	2,719	4,106	151%
その他	67,579	3,807	5,554	6,472	7,269	112%
合計	107,760	45,424	29,618	30,056	34,143	114%

